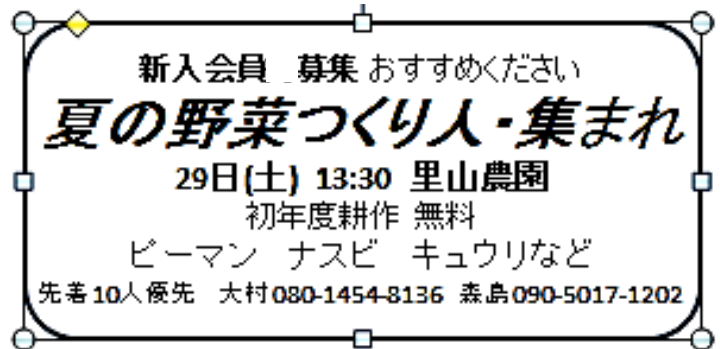


● 草内倉庫前草刈 春の訪れ里山農園にも

タンポポが咲き乱れる広場になっていました。カラスノエンドウも負けずと頑張ってきていました。数日すると、すっかり野原に生まれ変わります。表通りを歩く散歩者もかなり増えてきました。今年はどうなっているのだろうと気にかけておられると思われます。23日草刈りの準備に出かけますと、すっかり刈り取られていました。これは23日の朝から森島さんが、すっかりきれいにしていただいたものと思います。手早く作業いただきありがとうございました。ひと汗かいていただきました。周囲の田圃もすっかり耕され、畔の草も刈り取られ、田んぼのレンゲも咲きそろっています。まもなく農繁期(苗代作りや、茶摘み、田植え)です。



●22日（土）「さんさん山城マルシェ2017」が大成功

これは山城地域の諸団体の交流と豊かで明るい安全で安心な地域づくりに貢献するとされています。実行委員会 7 団体と協力団体数社が模擬店をだして、好天の中楽しい1日を過ごしました。終日賑やかな集いでした。

●京都府主催のNPO会計の解説会が21日に宇治市産業会館

深田理事長が出席 NPO法の改正が行われ、会計報告について、さらに公開の義務が強化され、定款の変更が伴うと伝えられています。その手法を学ぶための機会として出席をいただきました。里山の会はこれまで会誌で広く公開しているので、一定の処理を行ってきました。また必要書類の保管期間も5年間と延長されるとも聞いています。こうした疑問を正確に理解する良い機会となりました。説明では即実行ではなく数年間の準備期間が設定されているということでした。

●会誌発行の意義

里山の会の機関紙「里山の自然」が42号となり発足時から年間2回の発行を維持してきました。改めて発行の意義や役割を確認しておきたいと思います。何よりもこの会誌を通じて、会員相互の理解を深める場として、機関誌の発行を定款に義務づけてきました。そして何よりも 1：会員に活動を伝えること、2：会員に活動結果を知ってもらうこと、3：会員に深く理解をいただくよう提案をすること、4：会員に共感を持っていただくこと、5：興味を持っていただくこと、6：参加をいただけるようにすることなどが目的です。この立場から会誌42号の点検を行いました。里山の会の植物関係と農園関係の原稿が締め切り時点で寄稿いただくことができていませんでした。事務局会議で議論の結果、締切日を過ぎているが発行日の変更を行っても掲載すべきとの結論になりました。農園関係と植物関係の方から、大至急原稿を提出すると発言があつて、読者の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご協力お願いします。連休中には製本発送の予定です。少しお待ちください。

●夏原グラントの報告について

里山農園での作業を行うときには、作業前の写真撮影が大切です。そして終了した撮影も必要です。いずれも計画していた事業が完成した時には、事業報告書の提出に添付資料として求められています。勿論、活動発表会やプレゼンテーションなどにも大いに活用する機会が多くあります。

考えられるのは京田辺市の文化祭や、京都府環境フェスタ、城陽市の環境祭りなどがあります。活用の機会は数多くあり、会誌での原稿にも活用します。作業いただく皆さん、里山農園にかかわっていただくすべての皆さんに、ぜひ写真の撮影協力をお願いいたします。写真は日時、場所と説明の一言メモ添付で完璧です。

●里山の会年間イベントについて

昨年度の活動参加者は 7000 人弱でした。今年は野菜の栽培がきないとのこともあって、収入減少が必然です。もちろん朝市への出店も落ち込むことは容易に想像されます、したがって、予算規模も縮小することにもつながります。年間イベントへの参加人数も少なくなることも考えられます。この状況の下でイベントでは新入会員の勧誘に一定の時間を割いてでも訴えていかなければなりません。同時に事前宣伝としての取り組みを言葉に終わらせるのではなく、しっかり行いましょう。会員各位のご協力をお願いします。会誌 42 号のお届けにイベント案内を送付しますので、ご利用ください。

●春のハイキングのお知らせ

5 月 7 日 10 時集合 JR 宇治駅 「宇治市植物園を訪ねる」入館料 500 円
宇治橋通→途中縣神社→市役所→太陽が丘運動公園→植物園を考えていますが、コース変更もありますのでご注意ください。ご参加の皆様は現地集合参加も可能です。できれば準備の都合もありますので、事前申し込みをいただくと、大変ありがたいです。連休最後の取り組みとしてご参加ください。小雨決行します。

●29 日（土）午前 10 時より第 23 回通常総会

社員の皆様のご出席をお願いいたします。会場は里山農園・教育棟です。今年の総会は会員減少という非常に厳しい状況の下での会議となります。打って出るチャンスとして新方針を確立しようと思えます。逆境に屈することなく、今こそ 20 年の伝統を基盤に躍進への一步を踏み出し、全会員が力を合わせられる方針を確立しましょう。午後からは里山農園の耕運作業を計画しています。約 1 時間の農作業をお手伝いください。

●5 月の予定

5 月 10 日	5 月 20 日
地域力再生プロジェクト交付金の申請日	ベニバナシャクヤク見学南丹市美山
5 月 10 日	5 月 20 日
京田辺市環境パートナーシップ通常総会	城陽市社会教育研修会
5 月 13 日	5 月 21 日
親子で遊ぼう学ぼう魚とり 世話人会	竹蛇籠生き物調査
5 月 13 日	5 月 23 日
琵琶湖・淀川流域圏連携交流会通常総会	木津川マラソン大会第 1 回実行委員会
5 月 14 日	5 月 27 日
レンリソウ保全雑草の抜草作業	たまねぎ収穫作業
	5 月 28 日
	城陽市支援センター登録団体連絡会